

東北大学 多元物質科学研究所 計測研究部門
量子光エレクトロニクス研究分野 助教 公募

1. 募集人員： 助教 1名
2. 所 属： 東北大学多元物質科学研究所計測研究部門
量子光エレクトロニクス研究分野
3. 職務内容： 掲記研究分野(研究室)の秩父 重英教授、嶋 紘平准教授と協力し、半導体結晶成長及び先端計測を通じて、電子系と光子系の機能を融合するデバイス等に関する研究を行います。また、工学研究科応用物理学専攻の学生の研究教育にも取り組みます。下記の研究内容を主要テーマとしますが、広い意味での光量子科学・半導体工学・結晶工学などに強い興味を有する方を希望します。
 - 1) (B,Al,Ga,In)N系窒化物半導体や ZnO, NiO 等の酸化物半導体
 - 2) 半導体量子ナノ構造の時間・空間分解分光計測当研究分野の構成や研究内容は、下記のウェブサイトを参照してください。

<http://www2.tagen.tohoku.ac.jp/lab/chichibu/html/index-j.html>
4. 応募資格： 博士の学位を取得した方、もしくは採用時まで取得見込の方
5. 採用予定年月日：2025年4月1日
6. 勤務地：〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目-1-1 東北大学多元物質科学研究所
7. 待遇
 - (1) 勤務形態：常勤
 - (2) 任期：国立大学法人東北大学教員の任期に関する規程に基づき任期7年
(審査により再任可とする。ただし、再任の場合の任期は3年とし、1回を限度とする。5年目に再任審査を行う)
 - (3) 給与等 国立大学法人東北大学職員給与規程に基づき支給
 - (4) 勤務時間：専門業務型裁量労働制。8時30分～17時15分を基本とし、各人の裁量に委ねる。
 - (5) 休日：土日祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
 - (6) 有給休暇等：年次有給休暇は本学規程に基づき付与。その他特別休暇有
 - (7) 社会保険：文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険加入
その他国立大学法人東北大学職員就業規則等による

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei-etsuran/reiki_taikei/r_taikei_01_04.html
8. 提出書類：下記の書類をメールの添付書類(PDF ファイル)で提出。
 - ①履歴書(写真貼付、住所・電話番号・E-mailなどの連絡先情報を含む)
 - ②研究業績リスト：原著論文、国際学会プロシーディングス、総説および解説論文、著書、特許等に種別すること。全共著者名を記すこと。
 - ③その他参考となる資料：教育実績、学会活動、受賞歴、社会的貢献実績、競争的資

金の実績など

④現在までの研究概要（A4、2枚以内）

⑤研究・教育計画および抱負（A4、1枚以内）

⑥本人について意見を聞くことのできる方2名の氏名・連絡先

・提出書類は採用審査のみに使用し、本選考に関係のない第三者には開示しません。

また応募書類は返却しません。

9. 書類提出・問い合わせ先：

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1

東北大学 多元物質科学研究所 量子光エレクトロニクス研究分野 秩父 重英

Tel: 022-217-5363

e-mail: chichibu@tohoku.ac.jp

10. 応募締切：2024年 12月末日

11. 選考方法

書類選考の上、面接審査等により決定します。

12. その他：

・東北大学は多様性、公正性、包摂性（Diversity, Equity & Inclusion : DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

・学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）、青葉山みどり保育園（定員 116 名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>